

IVUS の基本

1. アーチファクト

エコー特性によるもの

心収縮に伴うもの

血球ノイズ

ワイヤーアーチファクト

NURD

IVUS 上の構造物

プラーク

ヘマトーマ

ステント

ケース 1 LMT 病変

ケース 2 RCA 入口部病変

ケース 3

LMT の AMI

ヘマトーマで LMT が閉塞している。

ケース 4

stable AP の症例でリッチプラークを認める。

No reflow, slow reflow のリスクが高く distal protection を検討する。

ケース 5

stable AP で LAD に rich plaque を認める症例。DCA 施行した。

ケース 6

RCA の AMI

層状に分かれている血栓像を認める。

ケース 7

AMI の症例

生理的食塩水をフラッシュすることにより Negative contrast を作り出して病変を評価する。

ケース 8

stable AP で dissection を生じた症例

造影と照らし合わせ対角枝、中隔枝の入る方向で IVUS 上の方向を評価する。

ケース 9

LAD の AMI 症例、ガイドワイヤーの挿入が困難で IVUS guide にワイヤーリングを施行した。LAD が非常に屈曲しており最初 LAD の分岐部と思っていた場所とは全く別の場所に IVUS 上分岐部があった。これを marking してワイヤーリングに成功した。

ケース 10

ステントの透亮像

ケース 11

SVG に cypher が留置された再狭窄病変。

ブラックホールが認められた。プロテオグリカンではないかといわれている。